

令和7年度
第1回 小櫃・上総地区公民館運営審議会
資料

小櫃公民館
上総公民館

令和 7・8 年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会について

令和 7 年 4 月

1 公民館運営審議会とは

公民館運営審議会（以下「公運審」）は、社会教育法及び君津市公民館の設置及び管理に関する条例に基づいて設置される公民館長の諮問機関です。君津市教育委員会から委嘱され、任期は一期 2 年です。君津地区（君津中央・八重原・周西・周南）、小糸・清和地区、小櫃・上総地区の 3 つの審議会があります。

小櫃・上総地区公運審は 8 名の委員で構成されています。委員には、市民の学習の場・憩いの場である公民館をより良くするために、市民の代表として様々な立場から、主催事業や施設など、公民館運営全般について、地域に望ましい運営がなされているか調査・研究し、市民の要望や意見等を述べていただく役割があります。また、各地区の公運審のほかに、君津地方（木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市）の委員で構成される君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会（君公運審連）の会員として、研修会等に参加いただいています。

過疎化と少子高齢化が進む小櫃・上総地区で、地域活性化や持続可能な地域づくりを目指すために、専門的な分野の視点を持つ委員と広く社会的な見識を持つ学識経験者、自治会・地域団体等の地域で暮らす住民によって委員が構成されることが望ましいと考えています。

【委嘱の根拠と選出分野】**(1) 根拠**

社会教育法第 30 条及び君津市公民館の設置及び管理に関する条例第 6 条

(2) 選出分野

- 1 学校教育の関係者
- 2 社会教育の関係者
- 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 4 学識経験のある者

【小櫃・上総地区公民館運営審議会委員選出区分について】**(1) 社会教育・学校教育関係者**

小中学校の統合により、コミュニティのあり方が変化しています。地域の教育関係者として、他の施設や分野との連携も視野に入れ、地域の教育力を持続させるために、幅広い視点や地域の実情に即した意見をいただきたいと考えます。

(2) 自治会・地域団体・NPO 等

子ども達の健やかな成長や住民の活力増進の担い手、また地域住民の代表として、公民館と地域をつなぐ橋渡しとなる意見をいただきたいと考えます。

(3) 家庭教育関係者

当事者の声に寄り添うコミュニティづくりを目指すために、子どもを取り巻く地域や諸行事のあり方について、子育て経験者の視点から意見をいただきたいと考えます。

(4) 学識経験者

複雑化及び多様化する地域課題の中で、先進事例や学術的見地から、小櫃・上総地区に必要な学習課題は何か、また誰もが暮らしやすい地域づくりと公民館のあり方を考えるための意見をいただきたいと考えます。

2 小櫃・上総地区公民館運営審議会の方向性

近年の小櫃・上総地区公民館運営審議会では、下記のテーマで審議が行われました。

- ・平成29・30年度「『子ども、若者、高齢者など、誰もが地域で暮らし続けられるふるさとづくりに寄与する公民館事業』の実現に向けて(意見書)」(平成31年3月14日)
- ・令和元・2年度「学校と地域を結ぶ公民館事業のあり方について」を審議テーマに議論
- ・令和3年度「地域と学校の協働活動による全員参加型社会を目指す公民館のあり方について」(意見書)
- ・令和4年度「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」(意見書)
- ・令和5・6年度「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について」(意見書)

これまでの審議で示された公民館運営のあり方や主催事業の方向性に基づいて、審議を継続的・発展的に展開する必要があります。

※【別紙】議論の関係図(ポンチ絵)

(1) 令和7・8年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会で重視すべき点

審議テーマ「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動について」

令和5・6年度小櫃・上総地区公民館運営審議会では、人口減少や少子高齢化などの地域課題及び国や市の「拠点づくり」の方向性並びに市の「地域づくり協議会」制度の創設等の状況を踏まえて、「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について」をテーマに、2年間の審議を経て、意見書が提出されました。

まず、公民館運営のあり方として①「多様な年代が『つどう』場づくりと運営に『かかわる』仕掛けづくり」②「関係者が『つながる』仕掛けと広がり」③「『たのしむ』なかで気づき、深まる『まなび』を生み出し、暮らしを拓く」の3点が示されました。また、公民館事業のあり方として、AARサイクルを活用した「見通し・計画」、「実施内容」、「振り返り」のサイクルを回していくことで、さらな

る活動の蓄積と新たな展開へとつなげていくことが重要であると言及しています。

さらに、住民主体の地域づくりを展開していくために、公民館は、地域ごとに異なる課題に応じた学習・活動に取り組み、住民が学びの客体から主体へ転換していく働きかけや仕掛けが重要であると結論付けています。

以上を踏まえると、今後、地域社会のあり方が変化する中で、公民館等再整備や地域づくり協議会の設立が進められるにあたり、公民館には、地域住民が学びの主体として参画する公民館活動を展開することで、地域を活性化し、地域づくりを推進していくことが求められていると言えます。

今期の小櫃・上総地区公民館運営審議会では、令和6年度末の意見書の内容を踏まえて、そもそも「地域づくり」とは何かを考えるとともに、住民主体で地域課題の解決を目指す取り組みをどのように展開していくか、これらの取り組みを通じて「地域づくり」をどのように推進していくかを議論するために、以下のとおり審議会を進めていきたいと考えています。

[令和7・8年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会 実施計画(案)]

令和7年度				
日時	第1回 5月9日(金) 午後3時～5時	第2回 9月9日(火) 午後3時～5時	第3回 12月9日(火) 午後3時～5時	第4回 3月10日(火) 午後3時～5時
会場	中央図書館	上総公民館	小櫃公民館	松丘コミュニティセンター
議題	①公運審の説明及び今後の進め方 テーマ「地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動について」(説明) ②各公民館年間事業計画	①各公民館事業の中間報告(4～8月) ②審議テーマにおける地区別協議(「地域づくり」について)	①各公民館事業の中間報告(9～11月) ②文化祭の報告 ③20歳のつどいの報告(進捗状況) ④審議テーマに係る各地区の現状報告及び意見交換	①各公民館事業の報告(12～3月) ②20歳のつどいの報告(実施結果) ③審議テーマについて単年度総括(議論の整理)
備考	開催前に委嘱状交付式実施			
令和8年度				
日時	第1回 5月中旬 午後3時～5時	第2回 9月中旬 午後3時～5時	第3回 12月中旬 午後3時～5時	第4回 3月中旬 午後3時～5時
会場	上総公民館	小櫃公民館	亀山コミュニティセンター	上総公民館
議題	①今年度公運審の進め方について ②各公民館年間事業計画について ③審議テーマにおける取り組みの進捗状況報告	①各公民館事業の中間報告(4～8月) ②審議テーマにおける取り組みの意見交換	①各公民館事業の中間報告(9～11月) ②文化祭の報告 ③20歳のつどいの報告(進捗状況) ④意見書の内容について協議	①各公民館事業の報告(12～3月) ②20歳のつどいの報告(実施結果) ③意見書の提出
備考		(意見票の配付・回収)	第3回実施後、郵送等で最終案を確認していただく	

* 先行事例として、清和地区での拠点整備の動向からも学んではいかがが
(秋元小学校拠点整備事業及びコミュニティ清和の事例)

「子ども、若者、高齢者など、誰もが地域で暮らし続けられるふるさとづくり」に寄与する公民館事業の実現に向けて(意見書)平成31年3月

公民館運営について

- ①地域に出向く、開かれた公民館の実現
 - ・ 住民にとって身近な場所で事業を実施し、住民が学ぶ機会を拡大
 - ・ SNSの活用など、様々な世代に情報を届ける取り組み
- ②地域資源の情報収集や発信・交流基地としての公民館機能の充実化
 - ・ 「地域資源」について積極的な情報収集や発信を行い、様々な年代の住民が気付けるきっかけづくり
 - ・ 交流基地としての機能の充実を図り、人の交流という側面だけでなく、公民館が地域の拠点として活用され、存在感を高めていくこと
- ③学校教育支援の充実を図り、地域と学校をつなぐ公民館運営
 - ・ 学校再編により新たに誕生する学校と地域を取り持つ役割を担うこと
 - ・ 資料提供、地域の人材、団体のつながりづくりを支援し、地域資源を活かした学校運営を進めていく一助に。

公民館事業について

- ①「地域」を掘り下げる事業への積極的な取り組みの推進
 - ・ 地域の歴史や文化、自然等を学ぶことで、地域の再発見や新たな魅力の創出につなげていくこと
 - ・ 多様な世代の参加を促し、これまで培われてきた地域の遺産を後世につなげていくこと

▶「小櫃まるごと博物館構想事業」着想の根拠

- ②地域を支える人材育成につながる事業の推進
 - ・ 地域を支えていく人材を育み、発見し、交流しあえることができるよう、多様な人々が集まれるような学習機会の創造や交流の場づくりに取り組むこと

おわりに

- ・ 企画運営段階から地域の団体や人材等と積極的に接点を持つことを心がけたことが、参加者層の拡大につながり、「地域の活性化に取り組む公民館」の姿を地域の方に伝えていくことができた

地域と学校の協働活動による全員参加型社会を目指す公民館のあり方について(令和3年度意見書)

小櫃:「小櫃小1000か所ミニ集会」・「小櫃地区教育講演会」
上総:「上総子どもふれあい教室」

1 モデル事業の今後の進め方について

- ①広報・周知活動の充実
 - ・ 掲示や自治会回覧に加えて、スマホ等のICTを使って伝えること
- ②社会の変化や情報化に対応した事業の推進
 - ・ SNSやドローン等、新たに登場したICTに関するリテラシー教育
- ③ICT活用による参加者層の拡大
 - ・ 事業を動画配信やオンラインで実施することで、今まで関わっていなかった方の参加を促すツールになりうる

- ④評価結果の活用
 - ・ 外部評価、内部評価を大切にしながら、今後の事業を充実

2 審議テーマの今後の方向性について

- ①子どもから大人まで幅広い世代が参加できること
 - ・ 地域の幅広い方が関われる事業、参加者として幅広い世代に対応するなど工夫を凝らした事業が必要

- ②子どもと地域の大人が関わる裾野を広げること
 - ・ 座学だけでなく実習や自治会等と連携を行い、担い手をつなぐ

- ③地域の諸団体を結びつけること
 - ・ 小さなコミュニティでつながる人脈と結びつける活動が必要

- ④将来にわたり地域全体で取り組む活動として「地域と学校の協働活動」を位置づけること
 - ・ 「地域の将来の姿」をテーマにして地域で語り合える場を作ること
 - ・ 地域の将来像を描きながら、子どもたちの育て方やその方策の一つとして「地域と学校の協働活動」を考えること

ICTを活用した公民館事業の新しいあり方について(令和4年度意見書)

小櫃:「小櫃まるごと博物館構想事業」と関連事業「小櫃学」
上総:「サークルリーダーICT講習会」

1 審議テーマの今後の方向性について

- ①ICTを活用した関係人口の拡大と地域の活性化
 - ・ 人口減少、高齢化による地域づくりの担い手不足という課題に対して、「関係人口」(地域外の人材)が地域づくりの担い手に期待。ICTを活用することで、距離や時間の制約なく交流できる

- ②対面(オフライン)とICT(オンライン)の併用による公民館活動の活性化
 - ・ これまでの蓄積を生かして、対面とICTを併用しつつ、双方の良さを生かした参加者層の拡大や、既存事業の活性化を目指す

- ③ICTを活用した双方向の情報発信の強化
 - ・ ICTの相互に情報交換できる特性を生かす。例えば、学校の授業で配信動画を活用し、意見交換したり、動画を見た人が次の行動につながるメッセージを集めて発信していくなど。

④ICTの利活用を「目的」から「手段」へ

- ・ ICTを地域住民の利便性向上や、公民館活動・地域活動の活性化、参加者層の拡大などの有効な「手段」として積極的に活用する

2 おわりに

- ・ 公民館での学びの中心にいる主役はいつも地域住民
- ・ 公民館の役割「集い、学び、繋ぐ」を大切にしながら、ICTの利活用によって役割を強化し、住民ひとり一人が取り残されることなく人生を豊かに生きていくため、地域課題の解決に向けて、自己教育活動の主体作りに向けた事業運営の推進を期待
- ・ 社会の転換期においても暮らしを切り拓いていけるよう、**地域活性の拠点として公民館が運営されることを期待**

地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について(令和5～6年度)

公民館運営のあり方

- ①多様な年代が「つどう」場づくりと運営に「かかわる」仕掛けづくり
 - ・ 高齢者にとって社会参加の機会は重要。体調に応じて参加の機会・スタイルを選べること
 - ・ 青年～壮年期は家族として参加する機会、若い世代は直接体験の機会など、年代ごとの生活実態に合わせて興味関心の高い事業を模索。若い時から公民館を利用する習慣をつくる
 - ・ 学生・若者だけの意見交換の場、利用者自身で空間づくりやイベントをつくる体験など、いつでも多様に公民館に関わる・参加する機会が用意されている、開かれていること
- ②関係者が「つながる」仕掛けと広がり
 - ・ 公民館単独では解決できない課題でも、関係者同士が互いの情報を共有することで解決の糸口（問題の本質、学習課題、アプローチの方法）が見えてくる
 - ・ いかに関係者を広げていくか、特に「子ども・若者世代」に関わってもらう仕掛け
- ③「たのしむ」なかで気づき、深まる「まなび」を生み出し、暮らしを拓く
 - ・ 団体・組織との連携も大事にしながら、関わる「個人」に着目し、AARサイクルを回していく。自由な参加意思を基本とする公民館活動において「たのしさ」は重要な動機づけ
 - ・ 「たのしさ」だけでない生活や地域課題の困難や悩みへのアプローチには、対話による気づきと「まなび」が重要

公民館事業のあり方

- ①見通し・計画（Anticipation）
 - ・ 目的・課題設定：アンケート、ワークショップ、利用者の声など、日頃から地域住民の生活実態を調べ、地域の特性やニーズを把握すること
 - ・ 企画：関係団体・機関等の関係者をつなぎ対話と検討を丁寧に重ねていながら、それぞれの強みを活かした役割分担をしていくこと
 - ・ 対象者と開催日：対象者のライフスタイルに合った開催日時の設定や参加のハードルを下げていく方向で検討すること
 - ・ 周知方法：時代や世代に応じた様々な方法を模索していくと共に、関係者を通じた直接の情報伝達を進められるように工夫すること。既存の取り組み同士をつなげたコラボ企画によって新たな交流を生み出すこと
 - ②実施内容（Action）
 - ・ 内容：目的や対象に応じた「たのしさ」と「まなび」のバランス、インプットとアウトプットのバランス、「まなび」の深まりや活動の広がりといった展開などから課題に迫る内容とすること。参加者の反応によっては効果的な内容に変えていく柔軟性も必要
 - ・ 講師：事前に打ち合わせを行うなかで、共通認識をもち、「相互学習」の関係性を築く
 - ・ 協力者：立案の段階からつながりをもつことで共通認識が図られ、様々な関わりへ発展
 - ③振り返り（Reflection）
 - ・ 事業を行うことは目的ではなく、課題解決や住民が交流を図る手段であり、その後どのようなものが生まれるかまで意識して行っていくことが大切（テーマの深掘りや新たな活動への展開、テーマや活動の継続性）
- ・ 住民主体の地域づくりを展開していくために、公民館は地域のハード的・ソフト的拠点として、地域ごとに異なる課題に応じた学習・活動に取り組み、住民が学びの客体から主体へ転換していく働きかけや仕掛けが重要

おわりに

令和7・8年度審議テーマ
地域住民が主体の『地域づくり』を推進する公民館活動について

2025(令和7)年度 小櫃公民館 経営指針

※事業の予算的括りは、「コミュニティ活性化事業」「青少年教育事業」「課題解決学習推進事業」
※「小櫃・上総地区公民館運営審議会(R7・8)」は上総公民館予算
※各事業は4つの重点目標に紐づく。

3つの基本方針

小櫃地域は君津市北東部に位置し、面積は32.35平方km、世帯数2,029戸を数える(2025年1月末現在)。当館は昭和49年(1974)12月に開館し、令和6年(2024)に開館50周年を迎えた。地域のほぼ中央で小櫃川と御腹川が合流して肥沃な耕地を形成しており、また小櫃の三大古墳に代表されるように、古い歴史を有する地域でもある。

1 地域住民が心身ともに健康であり続けるために公民館事業を展開し、学習・文化・社会体育活動の発展を図る

2 地域住民の学習・交流・活動の拠点をめざし、地域の課題に根ざした公民館活動を展開することで、地域住民の誰もが生き生きと活躍し、安心して暮らすことのできる社会づくりを目指す

3 地域住民が身近な場所で学習し、新たなつながりや関わり合いの機会を創出するため、様々な交流の手法を効果的に運用して地域の活性化を推進する

『君津市総合計画 令和4(2022)～令和12(2030)年度』:5つの柱

- ①経済と環境が調和したまち
- ②誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち
- ③安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち
- ④快適で安心して暮らせるまち
- ⑤ともに創る次世代につながるまち ※プラス4つの戦略的プロジェクト

『君津市総合計画 令和4(2022)～令和12(2030)年度』

- :4つの戦略的プロジェクト
- A 安心して働ける環境をつくる
 - B 子育て世代が住みやすいまちをつくる
 - C 環境グリーン都市をつくる
 - D デジタル技術を活用して新たな価値をつくる

4つの重点目標

① 公民館活動に関わる人の裾野を広げ、利用しやすい施設環境の整備を推進する

② 青少年の健全育成のため、その活動を支える地域の輪(和)づくりを支援する

③ 団体・サークル活動等の育成・援助に努め、地域のネットワークづくりを推進する

④ 情報の収集・整理・発信を通じて地域活性化を目指す

各事業への展開

※企業や他部署との連携
・明治安田生命“元気プロジェクト”ほか
・市民生活課
(人権教育推進事業、男性の家事・育児参画促進事業)
・高齢者支援課(介護保険地域支援事業)
・生涯学習講演会 等

【予算区分:コミュニティ活性化事業】

- ・利用者懇談会〔重点目標③〕
- ・館報「おびつだより」の編集・発行〔③・④〕
- ・第51回小櫃地区文化祭〔③〕
- ・おびつ里山コンサート〔③〕
- ・ちょボラの会〔①・③〕
- ・団体支援事業〔③〕
- ・学校支援・連携事業〔②〕
- ・おしゃべりウォーク〔③〕
- ・君津市公民館連絡会・8館連携事業〔③〕
- ・地域づくり協議会伴走支援事業〔③〕
- ・つながるロビーづくり〔①・③〕

【予算区分:青少年教育事業】

- ・子ども会等関係者会議〔重点目標②〕
- ・子どもひろば〔②〕
- ・青少年相談員連携事業〔②〕
- ・子どもキャンプ〔②〕
- ・20歳のつどい〔②〕

【予算区分:課題解決学習推進事業】

- ・「小櫃まるごと博物館」構想事業〔重点目標④〕
- ・地域学習講座「小櫃学」〔④〕
- ・趣味教養講座〔①・③〕
- ・小櫃スマイルサロンいーね〔①・③〕
- ・介護家族のひろば〔③〕
- ・小櫃地区防災講座〔③〕
- ・子育てサロン「おびつな」〔③〕
- ・学びなおし事業「デジタル活用講座」〔④〕
- ・高齢者学級「ほほえみ学級」〔③〕

その他

- ・施設の提供〔重点目標①〕
- ・図書館サービス〔①・④〕
- ・備品・設備の充実〔①〕
- ・社会体育活動の援助〔③〕

小櫃公民館

1 基本方針

- (1) 地域住民が心身ともに健康であり続けるために公民館事業を展開し、学習・文化・社会体育活動の発展を図る。
- (2) 地域住民の学習・交流・活動の拠点をめざし、地域の課題に根ざした公民館活動を展開することで、地域住民の誰もが生き生きと活躍し、安心して暮らすことのできる社会づくりを目指す。
- (3) 地域住民が身近な場所で学習し、新たなつながりや関わり合いの機会を創出するため、様々な交流の手法を効果的に運用して地域の活性化を推進する。

2 令和6年度の成果と課題

【成果】

- (1) 「小櫃公民館開館50周年記念事業」の運営をとおして

令和5年7月設立の小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会とともに、周年当該年度（令和6年度）に各種記念事業を開催するべく、2年がかりで企画・準備を進めた。

令和6年10月に行われた記念式典においては、小櫃公民館公式マスコットキャラクターがお披露目され、公民館の利用促進アピールや事業周知の一翼を担うこととなったほか、11月には、俵田出身の世界的パティシエによる対談式講演会と館内全体をカフェに設えてのケーキの実食会、その道の権威である三田出身の日本語教育者による講演会をそれぞれ実施。令和7年1月には地元出身の音楽家による記念コンサートを開催。参加者はいずれも3桁に達し盛況であった。このほか、小櫃地域の「これまで」と「これから」を結ぶ記念誌『半世紀の歩み そして未来へ』も刊行した。

記念事業をとおして、地域の人材発掘・連携強化につなげることができたのはもちろん、外部へ向けて小櫃地域の魅力を発信することができた。

- (2) 「ちょボラの会」の活動をとおして

ちょボラの会による公民館環境の「快」善計画のサポートを行った。ロビーへの図書コーナーの設置をはじめ、カフェコーナー“ふらっとロビー”を新設するなど、大人も子どもも同時にくつろげる空間づくりを推進し、利用者から好評を博している。

また、ちょボラの会の活動が新たなイベント企画につながるなど、その活動が徐々に地域へ浸透しつつある。

【課題】

- (1) 令和8年1月実施の「20歳のつどい」が、上総小櫃中学校区での開催となることを受け、小櫃・久留里・松丘・亀山という広範囲にわたる住民の意識融和に重きを置く。それぞれの地域の特性、特徴、課題に応じた事業の企画を図りつつ、参加呼びかけのエリアを調整する。
- (2) 組織再編にともなう公民館と市民センターとの連携の在り方について、都度検討を行う。

3 令和7年度の重点目標

- (1) 公民館活動に関わる人の裾野を広げ、利用しやすい施設環境の整備を推進する。
- (2) 青少年の健全育成のため、その活動を支える地域の輪(和)づくりを支援する。
- (3) 団体・サークル等の育成・支援に努め、地域のネットワークづくりを推進する。
- (4) 情報の収集・整理・発信を通じて地域活性化を目指す。

4 令和7年度の重点取組分野及び主な予定事業

- (1) 「きみつ地域づくり協議会 小櫃地区設立準備会」の伴走支援
 小櫃・上総地区公民館運営審議会からの意見書を踏まえながら、住民主体の地域づくりに公民館がどのようにかかわるべきか模索しつつ、地域づくり課や小櫃地域市民センターとも連携して伴走支援を行う。
- (2) 地域食堂「おびつ あそんべ食堂」への活動支援
 “小さな子どもから高齢者まで「地域のみんな」がおいしいご飯を食べながらつどえる場”をコンセプトに、令和7年5月から小櫃公民館を会場に、「あそんべ食堂実行委員会」主催による地域食堂がオープンする。公民館として、その企画・運営を支援し、地域の活性化につなげてゆく。

5 令和7年度の事業計画

(1) 公民館運営審議会

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
1	小櫃・上総地区公民館運営審議会	小櫃・上総地区の課題に向き合って住民の意見を取り入れ、民主的で活力ある公民館の運営を図る。 ※令和7・8年度事務局は上総公民館。 ※5月9日(金)委嘱状交付式及び第1回審議会。	5月～3月 年4回	委員8名	

(2) コミュニティ活性化事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
2	利用者懇談会	団体活動の充実と利用者団体相互の交流・連携を深め、公民館の民主的運営を図る。前期・後期の年2回開催。	7月25日 1月30日	利用団体・サークル・公民館職員	
3	館報「おびつだより」の編集・発行	住民有志の編集委員会を設け、地域の学習・文化・暮らし等を取材・編集し、親しみやすい紙面づくりを目指す。	6月～3月 年4回発行	印刷部数 1,700枚 毎戸配布	編集委員 5名
4	第51回小櫃地区文化祭	豊かな地域文化の創造と活力ある地域社会づくりを目指し、各種団体と個人の文化活動、公民館事業の成果等を発表し交流を図る。これまでの部門(発表、展示、販売、体験)に加え、「(仮)支援部門」を新設し、幅広く協力者を求める。	企画会議2回、実行委員会会議3回 文化祭：11月1日(土)、2日(日)	地域住民	文化祭実行委員会

5	おびつ里山コンサート	地域住民が文化芸術活動を身近な場所で楽しみ、誰もが気軽に参加できるコンサートとして実施する。	12月中	市民	
6	ちょボラの会	参加者自らも楽しみつつ、ボランティア活動を通して公民館の環境「快」善を実施。住民主体の新たなイベント企画等をとおして地域活性化へつなげる。	月に1回程度の定例会議	地域住民	
7	団体支援事業	地域団体の支援に関わり、地域活性化を図る。 〔公民館利用者連絡協議会／小櫃の元気なこどもを育てる会／地域団体・サークル／七夕長谷川ホテル谷フェスタ／小櫃地区社会福祉協議会／「小櫃地区ふるさと祭り」／おびつあそんべ食堂実行委員会〕	通年	サークル・団体等	
8	学校支援・連携事業	学校教育と社会教育が連携することで、地域ぐるみの子育て環境醸成を目指す。 〔「総合的な学習の時間」支援／教育講演会 他〕	総合学習支援：5月～6月 教育講演会：2月7日	児童、保護者、教員、地域住民	小櫃小学校と連携
9	おしゃべりウォーク	様々な世代がおしゃべりしつつ歩き、交流する機会として開催。毎回テーマに沿ったコース（6～8km）を選定し、固有の歴史や背景も紹介することで、小櫃地区の魅力の再発見につなげる。	2月中	地域住民	体育協会・スポレク推進員・スポーツ推進員と連携
10	君津市公民館連絡会・8館連携事業	複数公民館が連携しながらテーマ性をもった事業を企画・運営する。 ※市公連（仮）主事会議にて調整	通年		他地区公民館と連携
11	地域づくり協議会伴走支援事業	小櫃地域の活性化を図る住民主体の地域づくり協議会設立に向けた準備会等の支援を行う。 ※設立準備会の運営委員会を設置	通年	地域住民等	地域づくり課、市民センターと連携
12	つながるロビーづくり	ロビーを誰もが気軽に立ち寄れる場所として活用し、人と人がゆるやかにつながるきっかけをつくと共に、新たな学びや活動へつなげる。 ※当面、趣味教養講座「ニットカフェ」からの継続活動の場を提供	通年	地域住民	

(3) 青少年教育事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
13	子ども会等関係者会議	青少年の指導に関わっている団体と、公民館や学校等の教育関係機関が一堂に会する機会を設け、情報共有と課題の解決を図る。	5月30日 (金) ※開催日を固定	保育園、小・中学校、子ども会、青少年相談員他	
14	こどもひろば	遊びや運動などの体験学習の提供を通じて、“子どもの居場所づくり”を進める。 ※「おびつつ子チャレンジ」「おびつ地域ミニシアター」を統合。	通年	小学1～6年生	小櫃小学校学童クラブと連携
15	青少年相談員連携事業	子どもと地域の大人がともに交流できる体験活動を青少年相談員と共催で企画・運営し、青少年の健全育成を図る。	1月中	主として小学生	青少年相談員と連携
16	子どもキャンプ	青少年相談員との共催で行う。親元を離れた共同生活の中で、責任感や思いやりの心、感謝の気持ちを学び、子どもたちの人間性を高める機会として実施する。熱中症対策に万全を期し、参加する子どもたちはもちろん、引率する大人たちにも無理のない内容を検討し、実施する。 ※事前（7月6日（日））にオリエンテーション実施。	7月 19日（土） ・20日（日）	小学4～6年生	内浦山県民の森
17	20歳のつどい	人生の節目を迎える20歳の青年が、大人としての自覚を持ち、また、地域の人々との交流を深める機会として位置づけ、青年教育の推進と地域の活性化を図る。上総小櫃中学校に統合後、初の卒業生が対象となる20歳のつどいである。令和8・9年は小櫃公民館、令和10・11年は上総公民館が事務局。 ※実行委員会会議は9～2月に実施	令和8年 1月11日 (日)	上総小櫃中学校区の対象者	会場は上総小櫃中学校 上総公民館と連携

(4) 課題解決学習推進事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
18	「小櫃まるごと博物館」構想事業	小櫃地域住民の営みによる地域資源の記録化と活用を通して、地域の活性化を図る。 ※構想運営員による会議を開催 ※「小櫃学」と連動実施。	通年	地域住民	

19	地域学習講座 「小櫃学」	「小櫃」にこだわり、地域の資源や文化を再発見できるよう機会を設ける。	11月29日 (土)	市民	移動手段 ：生涯学習バス
20	趣味教養講座	公民館活動の入門編として、親しみの持てる参加しやすいテーマを取り上げ実施する。	年4回程度	地域住民	
21	おびつスマイル サロンいーね	福祉に関わる様々な地域団体と手を結びながら、支え合い活動の体制づくりを進めるために「サロン活動」を展開する。	4月～3月 第3金曜日 の開催 ※8・3月は 変則開催	地域住民	小櫃地区 社会福祉 協議会と 連携
22	介護家族の ひろば	認知症等介護者同士が集う場をつくり、心のケアを図る（ピア・カウンセリング）。 ※関係者による企画会議を開催	6月と11月 年2回	介護者等	生活SC、 東部地域 包括支援 センター と連携
23	小櫃地区防災 講座	地域の防災意識の向上、共助の関係づくりの一助を担うことを目的に実施する。 ※自治会連協役員会にて企画検討	6月15日 (日)	災害発生時 関係者及び 地域住民	自治会連 協と共催
24	子育てサロン 「おびつな」	地域の人間関係づくりのため親子の交流と学習の機会を提供する。	6月～2月の 偶数月、年5 回土日開催	乳幼児・小 学生とその 保護者	コアラル ームと連 携
25	学びなおし事業 「デジタル活用 講座」(デジ活)	個人の要望と社会の要請に応えるために実学的な内容を取り上げ、新たに必要とされる知識や能力、技術等を学習する機会にする。	年4回程度	地域住民 15名程度	事業実施 について 見直しを 行う
26	高齢者学級 「ほほえみ学級」	高齢者が生きがいをもち、学び、交流する場とする。	6月～2月、 年9回程度	60歳以上 の地域住民	

(5) その他

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
27	施設の提供	住民の学習と集団活動の拠点としての役割を果たし、個人利用にも対応する。	通年	市民	
28	図書館 サービス	地域の読書推進を図るとともに、地域住民とともに図書室の環境整備に着手し、PRにも努める。	通年	市民	
29	備品・設備の 充実	施設環境の整備に努め、必要な備品を購入し、機能性の向上に努める。	通年	市民	
30	社会体育活動 の援助	日常生活のなかにスポーツを取り入れ、健康維持や体力向上を推進する。公民館ほか小櫃スポーツ広場等。	通年	各スポーツ 団体・住民	

2025(令和7)年度 上総公民館 経営指針

『君津市総合計画』:5つの柱

- ①経済と環境が調和したまち
- ②誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち
- ③安心して子育て・育ちで学びを楽しむまち
- ④快適で安心して暮らせるまち
- ⑤ともに創る次世代につながるまち ※プラス4つの戦略的プロジェクト

三つの基本方針

上総地区は本市の地区のなかでも、面積が一番大きく、上総公民館に加え、上総公民館は亀山分館と松丘分館の2つの分館がある。
 上総地区の面積は君津市のおよそ3分の1、約128km²である。令和7年3月末時点で人口5,513人、世帯数は2,791、高齢化率約52%である。少子化も進んでおり、令和2年度から地区内の中学校が小櫃へ統合され、上総小櫃中学校に、令和3年度には小学校が統合され、上総小学校の1つになった。

1 地域住民の身近な学習・交流の拠点施設として、様々な年代が利用しやすい公民館を目指す

2 地域の実態や課題に根ざした公民館事業を推進し、学習意欲と自治能力の向上を図り、地域活性化と文化活動の発展を目指す

3 他機関・団体と積極的に連携・交流を図り、地域の豊かな人間関係作りと共同の関係作りを進める

※事業の予算分類は、「青少年教育事業」、「コミュニティ活性化事業」「課題解決学習推進支援事業」「分館事業」の4種類。

※重点目標は令和7年度の「事業計画」「事業報告」に【関連重点目標】として反映させる。

五つの重点目標

●地域住民を大切にする公民館運営の推進

① 公民館運営審議会、利用者連絡協議会、分館事業推進委員会等と意見交換を行い、地域の実情や課題を探り、公民館運営や事業に反映させる。
 ・身近な地域活動・交流の拠点として、様々な人が使用しやすい環境を整備する。
 ・地域住民が主体の「地域づくり」を推進する公民館活動について、公民館運営審議会等で検討する。

●地域課題に取り組む事業展開と誰もが参加しやすい学習機会の提供

② 地域課題や文化を学ぶ機会を提供し、地域を支える人材を育成する。
 ・少子化の現状に即した子育て支援及び青少年教育の充実を図り、次世代の育成を進める。
 ・学習活動を支援するため、図書分室の充実及び利用促進並びに地域資料の収集及び活用を図る。

●地域住民が主体の「地域づくり」を推進する公民館活動の展開

③ 地域住民、団体及び機関等と意見交換を行い、公民館の活用を推進する。
 ・「地域づくり」の視点を持って、地域住民、団体及び機関等が主体として参画する公民館活動を展開する。

●広報及び周知活動の充実

④ 上総公民館だより及び分館だより等広報紙において、地域の動きを取り上げ、紙面を充実させる。
 ・ホームページ、君津市公式LINE等のSNS及び館内掲示板を活用し、情報を発信する。

●人権教育の推進

⑤ 人権意識の向上を目指し、関係者及び機関と連携し、地域特性に応じた人権教育事業を推進する。
 ・多様化及び複雑化する人権問題を幅広く学習する機会を提供する。

各事業への展開

※企業や他部署との連携
 ・明治安田生命“元気プロジェクト”他
 ・市民活動支援課事業 ・DX推進課契約分スマホ講座
 ・生涯学習講演会 等

【青少年教育事業】

- ・青少年相談員会議〔重点目標③〕
- ・バスハイク〔②〕
- ・書道大会〔②〕
- ・公民館Deチャレンジ〔②〕
- ・子どもキャンプ〔②〕
- ・夏休み自習室開放〔②〕
- ・20歳のつどい〔②〕
- ・上総地区青少年健全育成「明るい社会啓発標語コンクール」〔②〕

【コミュニティ活性化事業】

- ・団体活動育成支援〔重点目標③〕
- ・上総地区文化祭〔③〕
- ・スマホ講座〔②〕
- ・上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室〔③〕
- ・趣味教養講座〔②〕
- ・上総公民館だより〔④〕
- ・久留里だより〔④〕

【課題解決学習推進事業】

- ・保育協力者関係事業〔重点目標②〕
- ・家庭教育関連事業「わいわい広場」〔②〕
- ・地域リーダー防災学習会〔③〕
- ・高齢者学級「さわやか学級」〔②〕
- ・みんなイキイキ！食の健康教室〔②〕
- ・上総子どもふれあい教室〔⑤〕
- ・地域住民交流教室〔⑤〕

【分館事業】

- ・松丘分館事業推進委員会〔重点目標①〕
- ・亀山分館事業推進委員会〔①〕
- ・松丘分館移動研修〔②〕
- ・亀山分館移動研修〔②〕
- ・松丘分館趣味教養講座(松丘探検隊、松丘健康講座、松丘防災講座)〔②〕
- ・亀山分館趣味教養講座(デッサン・絵画教室、健康教室)〔②〕
- ・松丘ふれあいまつり〔③〕
- ・亀山ふるさとまつり〔③〕
- ・松丘分館だより〔④〕
- ・広報かめやま〔④〕

【その他】

- ・施設の提供〔重点目標①〕
- ・施設の維持管理〔①〕
- ・図書分室業務〔②〕
- ・まちなみ塾(地域任意団体による事業)〔③〕
- ・花いっぱい運動〔③〕
- ・まちなみ塾通信〔④〕

※各事業の〔 〕内の数字は、上記にある「五つの重点目標」①～⑤の該当する番号を記載

上総公民館

1 基本方針

- (1) 地域住民の身近な学習・交流の拠点施設として、様々な年代が利用しやすい公民館を目指す。
- (2) 地域の実態や課題に根ざした公民館事業を推進し、学習意欲と自治能力の向上を図り、地域活性化と文化活動の発展を目指す。
- (3) 他機関・団体と積極的に連携・交流を図り、地域の豊かな人間関係づくりと共同の関係づくりを進める。

2 令和6年度の成果と課題

【成果】

重点取組分野「健康」を掲げ、本館モデル事業「みんなイキイキ！食の健康教室（全2回）」を実施した。各分館においても、松丘分館事業「松丘健康講座（全4回）」及び亀山分館事業「亀山健康教室（全2回）」を実施し、地区内全域で健康に関する課題解決に取り組んだ。参加者からも高い評価を得た。

【課題】

少子高齢化や人口減少により、過疎が進む中で、公民館は、学習を通じた地域づくりを推進する必要がある。具体的には、事業の見直しや広報の工夫、定期利用サークルの減少が課題である。

3 令和7年度の重点目標

(1) 地域住民を大切にす公民館運営の推進

- ① 公民館運営審議会、利用者連絡協議会、分館事業推進委員会等と意見交換を行い、地域の実情や課題を探り、公民館運営や事業に反映させる。
- ② 身近な地域活動・交流の拠点として、様々な人が使用しやすい環境を整備する。
- ③ 地域住民が主体の「地域づくり」を推進する公民館活動について、公民館運営審議会で検討する。

(2) 地域課題に取り組む事業展開と誰もが参加しやすい学習機会の提供

- ① 地域課題や文化を学ぶ機会を提供し、地域を支える人材を育成する。
- ② 少子化の現状に即した子育て支援及び青少年教育の充実を図り、次世代の育成を進める。
- ③ 学習活動を支援するため、図書分室の充実及び利用促進並びに地域資料の収集及び活用を図る。

(3) 地域住民が主体の「地域づくり」を推進する公民館活動の展開

- ① 地域住民、団体及び機関等と意見交換を行い、公民館の活用を推進する。
- ② 「地域づくり」の視点を持って、地域住民、団体及び機関等が主体として参画する公民館活動を展開する。

(4) 広報及び周知活動の充実

- ① 上総公民館だより及び分館だより等広報紙において、地域の動きを取り上げ、紙面を充実させる。
- ② ホームページ、君津市公式LINE等のSNS及び館内掲示板を活用し、情報を発信する。

(5) 人権教育の推進

- ① 人権意識の向上を目指し、関係者及び機関と連携し、地域特性に応じた人権教育事業を推進する。
- ② 多様化及び複雑化する人権問題を幅広く学習する機会を提供する。

4 令和7年度の重点取組分野及び主な予定事業

「地域住民の主体的参画」

地域住民が公民館活動の担い手として主体的に参画する関係を構築し、企画段階から協働で取り組む主催事業を展開する。

※主な予定事業「上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室」など

5 令和7年度の事業計画

(1) 公民館運営審議会

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
1	小櫃・上総地区 公民館運営審議会	公民館事業の企画実施、施設整備、両地区の連携等について調査・研究・審議する。	年4回 (5, 9, 12, 3月)	委員8名	事務局： 上総公民館

(2) コミュニティ活性化事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
2	第53回上総 地区文化祭	豊かな地域文化の創造と市民の交流を目指し、様々な文化活動や地域活動を発表する機会とする。	10月18・ 19日	サークル ・団体、 地域住民	
3	趣味教養講 座	地域活動の入門の場として実施し、文化活動及び交流を推進する。	時期調整 中、2講座 予定	成人	
4	上総公民館だ よりの発行	公民館主催事業及び利用サークル・団体等の活動紹介並びに生涯学習情報や地域の話題等を掲載し、公民館と住民とのパイプ役を果たす。	年4回発行 (6, 9, 12, 3月)	世帯配布 ほか	
5	久留里だよ りの発行	公民館主催事業・活動、利用サークル・団体等の活動紹介及び生涯学習情報や地域の話題等を掲載し、公民館と住民とのパイプ役を果たす。	年1回発行	久留里地 区世帯配 布	
6	上総の“山”と “歩く”を楽し む教室	上総地区を自らの足で歩き、自然や歴史に触れることで、郷土愛を涵養するとともに、交流人口の増加を目指す。	年1回	地区内外の 成人、青少 年等	
7	定期利用説明会	定期利用サークル・団体に必要事項を説明し、活動の充実と活性化を図る。	年2回 (5月、1月)	利用サー クル・関係団 体等	

(3) 青少年教育事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
8	公民館DE チャレンジ	スポーツや創作活動を通じ、子ども達の交流と体験活動を行う。	年2回程 度	地区内の 小学生	
9	子どもキャン プ	自然のなかで共同生活を送り、自然の素晴らしさ、仲間の大切さ、協力して働くことの重要性を学ぶ。	事前研修 7月19日 キャンプ 8月2～3日	地区内の 小学4～ 6年生	青少年相 談員と共 催
10	君津ふるさと かるた大会 (予選)	かるたを通じて、市内の歴史や文化について理解を深める。	10月18 日	地区内の 小学生	青少年相 談員と共 催

11	子どもバスハイク	普段行くことのない博物館、動物園等の施設に行くことで、見聞を広めるとともに、子ども同士及び青少年相談員との交流を深める。	9月20日	地区内の小学生	青少年相談員と共催
12	書道大会 & お楽しみビンゴ大会	書道サークルの指導により、書初めの宿題を実施する。また、お楽しみ会を実施し、子ども同士及び青少年相談員との交流を深める。	12月21日	地区内の小学生	青少年相談員と共催
13	20歳のつどい	20歳の門出を祝い励ますため、上総小櫃中学校区でつどいを実施する。	準備会未定 つどい1月11日	20歳を迎える方	実行委員会を組織、小櫃公民館と連携
14	自習室開放	地域の青少年の学習の場として会議室等を開放する。	夏休み期間中	小学生以上の学生	
15	上総地区青少年健全育成 明るい社会啓発標語コンクール	私たちの生活を豊かで楽しいものとするために、住みやすく明るい地域社会作りが必要である。そこで、児童・生徒から啓発標語を募集し、明るい社会作りの一層の推進を図る。	募集12～1月 審査会2月	上総小学校の全児童	上総小学校と連携

(4) 課題解決学習推進事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
16	さわやか学級(高齢者学級)	地域や家庭で健康で生きがいのある生活を送るために、共に学びふれあう場とする。	6月～3月 年10回程度	60歳以上の方	
17	わいわい広場(家庭教育関連事業)	地域内の乳幼児を持つ保護者とその子どもの交流を図り、子育てに関する知識や知恵を学ぶ機会とする。	年2回	乳幼児の親子 15組程度	
18	上総人権教育推進事業	地域内の学校との連携等を通して、人権学習の充実と推進を図る。 ・上総子どもふれあい教室 ・地域住民交流教室 ・人権週間関連事業等への協力	通年 年4回 年3回程度 12月	地区内児童 主に上総地区住民 市民	生涯学習文化課及び上総小学校と連携
19	みんなイキイキ！食の健康教室	食に関する座学や実習を通じて、健康について考える機会とする。	調整中	地域住民	
20	地域リーダー防災学習会	共助の意識の向上につながる学習や交流の場を設け、安全に暮らし続けられる地域づくりを学び、実践につなげる。	調整中	自治会長・民生委員・主任児童委員	自治連・民児協及び市民センターと連携

(5) 分館事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
21	松丘分館事業	身近な場で生活に役立つ学習や事業等を通して、豊かな地域づくりを目指す。 ・第20回松丘ふれあいまつり ・松丘分館だよりの発行 ・分館事業推進委員会 ・松丘探検隊 ・松丘防災講座 ・松丘健康講座 ・その他趣味教養講座の実施	通年 11月1日 6・10・2月 年4回 通年 6月 8・9・10月 2～3回	市民	
22	亀山分館事業	身近な場で生活に役立つ学習や事業等を通して、豊かな地域づくりを目指す。 ・第22回亀山ふるさとまつり ・広報かめやまの発行 ・分館事業推進委員会 ・デッサン、絵画教室 ・健康体操教室	通年 10月4日 6・9・2月 3回 6月2回 10月以降	市民	

(6) 施設提供・管理、図書、サークル育成・援助・学習相談等

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
23	展示活動	地域情報及び学習情報を提供する。 ・七夕かざり	通年 7月	来館者	
24	施設の維持管理	施設の維持管理及び修繕等を行い、安全で快適に使用できる施設とする。	通年	施設	生涯学習文化課と連携
25	図書館分室業務	市民及び関係機関のリクエスト及び相談に応え、読書を支援する。また図書館分室の利用を促進する。	通年	市民及び関係機関	中央図書館と連携
26	児童室(保育室)の活用	子育て及び孫育て世代の交流及び学習を支援する。 ・保育協力者会議の実施	通年 10月	市民 保育協力者	保育協力者と連携
27	個人利用の受付	サークル及び団体の使用がない場合に、卓球及びピアノの利用受付を行う。また、ボードゲーム等の遊具を貸し出す。	通年	市民	
28	関係団体との連携 団体活動の援助 情報提供等	各種団体及び機関と連携し、社会教育活動を支援する。また市民への情報提供及び学習相談に応じる。 ・サークル体験会 ・日帰りハイキング ・利用連総会	通年 12月～2月 未定 5月29日	団体及び機関等 市民 市民 サークル ・団体	

上総地域交流センター

1 基本方針

- (1) 生涯学習・市民の相互交流活動に関連する業務を積極的に進める。
- (2) 小櫃・上総地域を視野に入れ、これまで公民館で培ってきた地域との絆を大切にしながら、幅広い市民の交流の場づくりを進める。

2 令和6年度の成果と課題

【成果】

上総地域交流センターが開館して約15年となるが、近年は災害発生に伴う地域の防災拠点として住民の安心安全を確保する大きな役割を果たしている。

「まちなみ塾」との連携事業については、久留里地域の活性化を目指し、「落語フェスティバル」や「まちなみコンサート」、「鄙の雛展」などを実施した。

県立君津青葉高等学校の協力を得て取り組んでいる「花いっぱい運動」は上総地域交流センターの花壇等に草花の植栽等をし、地域のより良い環境づくりを行うもので5月と11月に2回実施した。地元の団体やボランティアの方も参加していただき、生徒と地域の方との交流も図られた。

【課題】

マンネリ化しないよう事業の行い方なども検討し、参加者に満足してもらえるような事業を引き続き行い、地域活性につなげたい。

3 令和7年度の重点目標

- (1) 副次核構想の中心となる久留里地区の活性化を推進する。
地域団体や機関、市長部局等と情報交換を図り、地域の活性化につながる場作りを進める。
- (2) 小櫃・上総地区の生涯学習活動・文化活動の活性化につながる事業に取り組む。
まちなみ塾と連携し、様々な世代が参加できる事業を実施する。

4 令和7年度の重点取組分野及び主な予定事業

「地域との連携」

地域の任意団体や学校等と連携し、地域とのつながりを意識し様々な事業やイベントを開催することで、地域活性につなげていく。

5 令和7年度の事業計画

No.	事業名	目的及び主たる内容	期日・回数	対象・人数	備考
1	「まちなみ塾」との連携事業	久留里地区の活性化のあり方や計画をつくり具体化をはかる。 ◇久留里の打ち水&夕涼みコンサート くるり落語フェスティバル 久留里まちなみコンサート 鄙の雛展 他	通年 7月 10月 12月 2月～3月	市民	地域の諸団体との連携
2	花いっぱい運動	君津青葉高等学校等と連携し、上総地域交流センターの花壇及び施設周辺的美観整備を行う。	5月、11月 年2回植栽	高校生、地域任意団体等	地域の諸団体との連携

令和7年度 修繕・備品購入計画

【小櫃公民館】

修 繕	1	駐車場掲揚ポール撤去
備品購入	1	予算なし

【上総公民館】

修 繕	1	浄化槽放流ポンプNo.1, 2交換修繕
	2	3階多目的ホール前室網戸修繕
備品購入	1	業務用掃除機